

# サタスタ

通信

編集発行：宮城学



こんにちは。  
サタスタの宮城です。

高校生や大学生から、リーダーシップについて相談されることがよくあります。中学生の皆さんにも参考になると思っていたので、ここで簡単に紹介します。



宮城は、企業やNPOでいくつかのチームを経験してきました。その中で学んだことから3つを抜粋してお話しします。

## 一つ目

【正解は複数ある】

リーダーシップを解説した本や講座はたくさんありますが、それらは複数ある正解の中の一つを紹介していることが多いです。ですから、自分が聞いた手法を唯一無二の正解だと考えると大失敗します。知識の一つとして、頭の引き出しに入れておくようにしましょう。

## 二つ目

【まず行動しよう】

「みんなで〇〇したら良いのにな」と思いついた時に周囲を説得して回る人がいますが、まず自分が実行

する人の方がうまくいきます。

## 流れを示すと

- ① 一人で実行する ←
- ② 周囲が見ている ←
- ③ 共に実行する人が出てくる ←
- ④ 多くの人が実行するようになる ←

となります。

## 三つ目

【第2の人】

自分の発案だけに拘らず、良い行動をしている人を見つけ共に行動することで、最初の人（ファーストペンギン）は、孤独に黙々と行動していることが多いです。そういう人を見つけて、最初の人に続く第2の人になります。そうすると、最初の人仲間ができてモチベーションが上がります。

2人で行動していると周囲の人の目にも留まりやす

くなり、3人目がやってくる可能性が上がります。3人目がやってくると「チーム」ができあがり、4人目以降が集まりやすくなります。人数が増えてくると、メンバーは第2の人を手本にするようになります。

良い行動を広めることが目的であるならば、第2の人になることはとても有意義です。



リーダーシップは人との関係にまつわることなので、絶対成功する手法というのではありません。自分と他者との間でおこる心の共鳴や反発を考慮して、好ましい現実を迎えるにはどうすれば良いのかを考える必要があります。参考にして下さい。

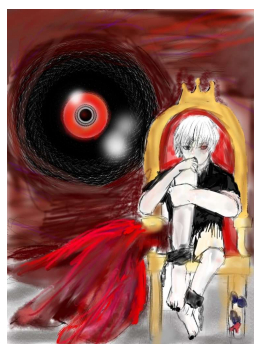
## 投稿コーナー



めい



しーちゃん



華月



りんり

投稿はサタスタホームページからできます。お待ちしております♪